造園通信

第2月号
2023年2月1日
発行：中込造園 広報係

２月からすべての植木の根切を行い麻布を巻きなおす根巻き作業をします。こうすることで植木が新しい根を出そうとし元気になります。１年の中でとても大切な工程です。３月からは仕入れも始まります。皆様に見やすいように整備します。

寒くても元気！

この季節の仕事はとにかく寒い。天気であれば日中は動いている分なんとか。しかし朝、夕はもう「気合・気力」のみでしょうか。当園は朝のミーティング？というほどでもないですがドラム缶で暖をとるのが日課でこれが朝一番の楽しみなんです。スケジュールからたわいもない話まで、ここで暖をとりながら一笑いして1日の始まりです。

大寒波の１月

1月は例年にない寒さと強風が発生しました。倒木などもあったりと急遽依頼を受けて片付け作業などを行いました。1年中葉を落とさない所謂常緑樹は風を葉で受けるため倒木になりやすいですが、落葉樹はその点リスクが低いです。長年植わっているから大丈夫。なんて安心せず強風が吹く場所では支柱をして倒木対策をご検討ください。

（双葉HTセレモニー）

芝の張替え

芝を張って数十年。芝はちゃんとメンテナンスをしていればこれほど奇麗な庭はないと言われますが、メンテナンスをしなければ雑草と化してしまいます。今回ご依頼を受けましたお客様はワンちゃんがいるご自宅でお庭を走り回るとのこと。現在施工中ではありますが古い芝を剥ぎ取り整地して新たなに芝の張替えを行います。

暖楽？

「さー今日から稼働開始！と初日の昼間に「社長、何か焼きたい！」とHITOMIさん。そういいながら手に持ってきたのが銀杏。社長「バカ！爆発するだろ！」それがきっかけで焼肉です。なんと贅沢な…。私たちも長年冬の朝はこのドラム缶にお世話になってきましたが流石に食べ物を焼いて食べたことはありません。

無農薬野菜

よく目にする「無農薬野菜」言うは易いです。野菜が高いと皆言いますが作り手としては「作ってみなよ」です。手間暇かけてよく管理しそれは本当に大変なことです。農家の方々の苦労は本当に有難いですね。植木のお仕事の合間で冬でも社長はこの無農薬野菜を一生懸命作り農協へ出荷したりお客さんにあげたりと社会貢献しています。私たち従業員のパワーもこの野菜で支えられています。お庭造りの際は、ぜひ「家庭菜園」を作って初めてはいかがでしょうか。野菜の作り方もただ植えればいいというものでなくまずは土作りから始まり肥料選びタイミングなど本当に奥深い世界です。社長は今では一般家庭で食べる代表的な野菜はほとんど作っています。毎食、自分が育てた野菜を食べることで、食生活の充実だけでなく喜びを感じることもできるほか、野菜を育てることで適度な運動にもなりますね。今年も元気に野菜を沢山作ってくださいね！

こだわりの猫小屋 まもなく御産か

野良猫だったマリの小屋を作って紹介させていただきましたが、ある日社長から「子供沢山産むかもしれないから小屋を作り直してくれ！」とLINEが。専務に伝えすぐに制作して頂きました。おとぎ話に出てくるようなかわいい不規則な形のものを・・・とブツブツ言いながら出来た小屋がこちら。みんなが「まーりまり」と。片側の屋根が開くようにしてあり子供の世話ができるように工夫されているほか、入り口は防寒対策でビニール暖簾がかけてあります。ペンキのニオイを配慮して屋根はバナーで焼いてあり、専務の心遣いがとアイデアのマリの小屋が完成しました。専務は「こいつ全然入らんな・・・」とぼやいていますが、あと数日もすればきっと使ってくれると思います。

ランチタイムも四季折々

私たちは、総勢6名で運営していますがそのお昼を一挙に賄って頂いているのは社長の奥さん。毎日6人が揃うわけではありませんがシフトで必ず誰かが作って社長が持ってきてくれます。その人数を毎朝4時起きでお弁当を作って社長が持ってきてくれます。昨年はお弁当だけで420食を作ったそうです。お弁当の中身は勿論社長お手製の野菜をベースに、タラの芽、わらび、ふき、フキみそ、川魚、たけのこ、きのこなどその季節のもので超贅沢なお弁当です。スタッフは毎回「有難い」とお昼にしています。その毎回作っていただいたお弁当をすべて写真に納めているスタッフもいます。今年は山菜レシピなども本誌で紹介していきたいと思いますので楽しみにしてくださいね。

向上心の塊

あまり多くを語らない専務。でも何かを秘めた高い目標みたいなものを常に持っています。お正月休みが開けた早々から1日中事務所にいる専務を発見。なにか難しいことをやっている様子でしたが、聞いてみるとどうやらCADを使ってWEBで図面の研修をしていたそうです。「今のプランニングに満足してはだめ。うちのもっている技術すなわち動力を100%お客様にお伝えできるよう」と。専務の目標と努力の一コマでした。

私もやります！

昨年からメンバー入りしたお姉さん（自称：HITOMIさん）仕事始め初日に根巻きの練習。「えーっと こうやって ここを…」とブツブツ言いながらスタッフに「日が暮れるぞ！」と構われながらなんとか1本！「できました！どうですか？上手でしょ！」「おお、いいじゃん！42点！」ええええ！でも一生懸命やってました。その他「軽トラックが出れなくなったから助けてください！」「ちがうちがう、貴方が出れないところにいったの！」手伝いというより仕事増す賑やかなお姉さんです。

バランス

植木を植えるのにその大きさで悩まれる方が多いと思います。小さすぎても存在感がなく大きすぎてもちぐはぐになってしまいます。また手入れのことも考慮しなければなりません。「存在感」と言いましたが存在感の中にもバランスがあります。家の存在感とのバランス、道路に面する横幅とのバランスなど。樹木を数値だけで見るのではなく全体的なバランスをみて、大きさを決めていくのが良いかと思います。

例えば、こちら。家とのバランスをとった例。窓の少ない面を背景に、大きな木を配置することで、のっぺりとしない「バランス」を作っています。

こちらも同じく。落葉の時期でも枝のシャープさが目立つようにして、こちらも大きめの木を配置。

次は門柱とのバランス。奥の樹木です。門柱付近に葉があるような高さの樹木にすることで自然と緑が目に入る位置にあり、高さのバランスもとれています。

こちらも同じく。門柱とのバランス。門柱よりも樹木の背が低いと、樹木が見劣りしてしまいますし、あまりに高すぎるとちぐはぐになってしまいます。門柱より少し高いくらいのバランスが良いですね。

最後は、建物や敷地の横幅とのバランス。比較的横に広いタイプの建物なのでそれに負けないように、枝葉が広がった、横に大きい樹木になっています。

高さ広がりに関する「バランス」に着目しましたが、葉の密度や、葉の色、花の付き具合などでもバランスが大切になってきます。お庭を計画される際にはバランスに関しても一度考慮してみてください。

編集後記

今年も大勢の皆様にご利用いただけるよう新しいことにもチャレンジして「また変わった！」と来られるお客様に言われるよう精進してまいります。まもなくホームページもリニューアルし、お庭自慢のフォトコンテストなども開設いたします。新しいことをガンガン行い、発信し、沢山の感動と笑いをお届けできるよう頑張りますのでどうぞ宜しくお願い致します。